

Hello, from
Around the World

ALT通信

白河で活躍するALT（外国語指導助手）を紹介！



アブラハム・サミュエル・ジョン先生
(オーストラリア・ニューサウスウェールズ州出身)
☎本庁舎学校教育課 内2365

日本のお笑いが好きです！

皆さんはじめまして！私は昨年8月にオーストラリアから来ました。出身はシドニーです。有名なオペラハウスのほかに、コアラもいるタロンガ動物園が人気のスポットです。実は、シドニーには回転寿司屋がたくさんあります。日本語は中学から大学まで勉強し、神戸市で1か月間ホームステイしました。白河は落ち着いていて、住みやすい町です。特に阿武隈川の景色はリラックスできます。9月の提灯まつりでは、長い竿の提灯などが街なかを歩く様子にエキサイトしました！
授業を担当している学校は、白一小・みさか小・釜子小・表郷中で、サム先生と呼ばれています。

インタビューや会話ゲームなど、なるべくアクティビティ活動を多く取り入れています。

趣味は旅行で、週末はサッカーやゲームをします。コミュニティカフェ・エマノンで過ごす高校生たちとの交流も楽しいです。

町で私を見かけたら、遠慮なく声を掛けてください！あいさつだけでも嬉しいので、皆さんよろしくお祈りします！



▲旅行で訪れた宮島

英語で一言！
Live life to the fullest!
「精一杯生きる！」

印象に残っている事業は、7月の合同慰霊祭です。東西両軍分け隔てなく弔い、現在も、この相手を思いやり慈しむ「仁」のところが受け継がれている白河の地だからこそ開催できたと思います。昨年の2月から、市長を先頭に萩市や鹿児島市などにキャラバン隊が訪問し、参列

事業を振り返ってみて、いかがですか？

- 《主な記念事業》
- 30年 1月 ピンバッジ制作・販売のぼり旗・フラッグ制作
 - 2月～4月 全国キャラバン
 - 5月 マンガ本の制作
 - 7月 合同慰霊祭・特別講演
 - 8月 萩市との交流事業(市内小学生16人が参加)
 - 10月 白河戊辰ラーメン合戦
 - 31年 3月 海援隊トーク&ライブ2019 新作楽劇『影向のボレロ』

白河戊辰150周年記念事業は3月で終わりを迎えます。最終回の今月は、人見光太郎実行委員会会長と金沢富士子事務局長にお話を聞きました。



未来へつなごう「仁」のこころ

白河戊辰戦争回顧録

最終回 白河戊辰150周年記念事業を終えて

を直接お願いしました。白河の良さや歴史を知ってもらい、各地とのつながりを持つことができました。

テーマフリーズである「甦る『仁』のこころ」やロゴマークが早い段階で決まり、実行委員会が一丸となったからこそ、新しい発想も生まれ、マンガ本やラーメン合戦など、さまざまなジャンルで広く「白河戊辰戦争」をPRできました。

また、まだまだ知られていない戊辰戦争の講話会などにおいて改めて歴史を見直すことで、新たな発見もありました。今後もし引き続き、白河の歴史と文化を発信していきたいです。

事業の集大成である『影向のボレロ』には大いに期待しています。※詳しい情報は21ページ「30年後の戊辰戦争180年に向けての思いをお願いします。」

若い世代の方が、これからも白河の歴史に興味を持って学んでほしいと思います。IT化などが進み、ますます環境は変化しますが、どんな時代でも人と人とのつながりは重要です。歴史は繰り返します。萩市との交流など今回の事業を思い返すことで、郷土愛を持ち、白河の地域活性化にもつなげてほしいと思います。